

掛川市図書館協議会 議事録

会 議 名	令和５年度第４回図書館協議会		
場 所	掛川市立大東図書館 ２階会議室		
開催日時	令和６年３月１２日（火）午後２時００分から午後３時３０分まで		
出席者	会 長 杉浦 雅美 会長代理 田中 克美 委 員 岡田 昇 委 員 戸塚 ひろみ 委 員 荒木 伊久美 委 員 松下 由香 委 員 鶴田 伸司 委 員 永田 孝明	館 長 後藤 晶子 副 館 長 鬼澤 勝人 主 幹 土屋 信二郎 中央図書係長 松下 恵子	

１ 報告事項

- (１) 第２回掛川市図書館協議会議事録について
- (２) 令和５年度の先進地視察報告について
- (３) 令和６年度図書館カレンダーについて

２ 協議事項

- (１) 令和６年度経営方針（案）について
- (２) 令和６年度事業計画（案）について

議事概要

１ 開会

２ 会長あいさつ

３ 報告事項

- (１) 第２回掛川市図書館協議会議事録について
事務局より報告。
委員からの意見はなし。
- (２) 令和５年度の先進地視察報告について
事務局より報告。

会長

指定管理者制度とＩＣタグについて、掛川市立図書館としてはどんな考えでいるか。

館長

指定管理者制度は考えていません。ＩＣタグは市内３館がそれに統一できればよいと思います。

会長

指定管理者制度は競争させると価格が下がるという仕組みだ。そうするとリファレンス等の業務や研修等が省略され、積み重なっていかない図書館になり、結果として市民が不利益を被

るのではないか。

委員

コストカットばかり考えるようになると、指定管理者制度の話が出てくると思うが、図書館がそうになると、学校との連携にずれが出てくる話になると思うので、指定管理者でない方がいい。

館長

そういう話が出てきたときは、市民や図書館協議会の皆さんに力をいただきたい。

委員

掛川城も指定管理になったが、お茶室は今まで学校や市民に密着して開けた感じだったが、どうもお金ありきな感じになってしまったのを感じた。浜松市は、市と指定管理者とのその辺りの関係性がとても良くて、素晴らしいと思った。

委員

視察先は掲示が大きくわかりやすかった。これはそれほどお金をかけなくても出来る。

委員

図書館活動グループや地域ボランティア等、図書館に協力的な人に協力を求め、活動を活発にしてもらいたい。

館長

活動グループの活性化、図書館との交流・発信が出来れば良いということで、図書館活動推進実行委員会を立ち上げました。今後順調にその人たちに浸透・発展していけばいいと思います。

(3) 令和6年度図書館カレンダーについて 事務局より報告。

会長

蔵書点検とは、リストと実際の本を合わせていく作業か。

館長

今書棚にある本をすべてスキャンして、書棚にない不明本を点検する棚卸の作業になります。

委員

不明本は増えているのか。

館長

増えてはいません。この頃はスマホの普及の効果だと思いますが、減ったのは切り取りで、昔は本当にヘアカタログや料理本の切り取りがひどかったです。

4 協議事項

(1) 令和6年度経営方針（案）について

(2) 令和6年度事業計画（案）について

事務局より一括で説明。

委員

以前の会議で市の幹部から来館者数を重視し、そこに投資分の価値があるかという話が出た。例えば大東図書館のシオーネとの駐車場の間でイベントの表示をする等して、市民の目にスッと入るような、そこまで行って何かを見てみたいと思うような投げかけがあった方が、もう少し来館者が増えていくのではないか。

委員

市民でも中央図書館のことを知らない人がいる。親しみがわくようなものがあると、行ってみようかと思うのではないか。

委員

地元の掲示板や駅など、人が通るところをうまく使って、図書館をアピールするような場にして、図書館の頑張りを図書館の場所も知らない人にも示さないと、3年後、5年後に答えが出るようなスタートをやらないと、待っていても来ない。

委員

中央図書館の建物を見たいから見に来たという方がいた。建物を見る会があったら、あの辺りを楽しく歩けるのではないかな。

委員

YouTube の本の要約チャンネルで、図書館に行かなくても本を読めたり、短い時間で読める。成果指標を結果として出すのであれば、何かを絡めていくとか、面白い企画で人を引きつける等して、図書館に足を運んでもらうということを考えないと、若い子たちはネットで見るので、どんどん減ってしまう。

委員

中央図書館の周りには魅力的な建物がいっぱいあり、歴史もある。以前、高天神城の説明・案内をいただいてすごくうれしかった。興味のある方は多いので、ボランティアで出来る方がいないかと思った。

委員

高天神城の入口に掲示できるところを作って、高天神城の細かいところは大東図書館に行くといいというような連携が出来ていくと、地域でもそこまで行く通路をきれいにしていこうとかというような考えにつながるだろう。

館長

成果指標というのは市の課題であって、必ず数字を乗せなければならないが、図書館というのは数字で計り知れないというところがあり本当に難しい。また図書館が人の生死に関わらない施設であるという中で、価値をどのようにアピールしていくのかは、本当にずっとの課題だと思います。

委員

例えば電子図書館を借りた数が来館者と同じくらいの数だということをアピールする等、出来るやり方の中でギリギリのラインで攻めて、努力している風を見せないといけない。無くてもいいという文化の部分にどれくらい予算を組んでやるかが市の豊かさだと思う。そこが切られるようだと、市の豊かさはない。

会長

数字では表せないものは潤いみたいところで、数字で横並びで他の部署と同じように見られると辛い。

委員

それは市民の後押し、理解がどれだけあるかということで、市民の図書館に対する理解が深まることは、掛川市の文化が上がることだから、努力のし甲斐があり、大変なことだと思う。

委員

大東図書館側では地元の文化や財を大いに活用しようということで動いてはいる。中央図書館には、駐車場がいっぱいで入れなかったという経験があり、駐車場に限界があるという実績も出ている。例えば大手門駐車場を利用した方が無料で行けるような助成をすれば、市内だけではなく市外、県外の人利用もできる。

館長

駐車場は天理教に借りているのが20台ほどあり、図書館と併せ85台くらいにはなりますが、土・日は行列で待っていただくこともあります。今は掛川桜で県外の人が大手門駐車場に行かずに図書館の駐車場に来てしまうので、大手門駐車場への流れが出来よう、観光担当に掲示の依頼や、職員にSNSを流すようしています。立地条件が良すぎるというのが永遠の課題ではあります。

5 館長あいさつ

副館長より、役職定年に伴うあいさつ

6 その他

事務局より、委員報酬の振込案内

事務局より、令和6年度第1回図書館協議会開催の予定について説明

7 閉会